

ロスカット制度について

【ロスカット制度とは】

予めお客様が示した損失の限度に達した際に、予め定められた方法により仕切注文が執行され「損失の限度」を超える損失が生じることを極力防ぐ事を目的とした制度です。

※ただし、市場の状況によってはお客様が示した損失の限度を超える損失が生じる可能性、または損失の限度内で取引が結了する可能性があります。

北辰物産株式会社 電子取引「D-station」をご利用のお客様へ

弊社の電子取引「D-station」では、「ロスカット制度」はご用意いたしておりませんが、下記のとおりの機能をお使い頂くことにより、損失を極力限定するお取引が可能です。

記

【「逆指値注文」を利用した取引について】

1. 「逆指値注文」について

「逆指値注文」とは、特定の注文が有効となる条件を指定して発注する注文であり、有効となる条件を満たした場合に、指定した注文が有効となる注文です。

尚、各取引ツールにおいて、指定できる注文は、指値、成行となります。

※堂島金、堂島白金、堂島銀、米穀指数は成行はありません。

2. 「逆指値注文」を使った取引

「逆指値注文（執行条件：成行 約定条件：FaK）」を使った損失を極力限定する手法について、金先物ミニ取引（倍率：100倍）の買いを例に説明します。（委託手数料は考慮いたしません。）

- ① 12,000円/gを約定価格とし、1枚の買い建てを行おうとしています。この時、許容できる損失の限度が、5,000円と考えています。
- ② 12,000円/gの買いの新規注文を発注します。約定と同時に11,950円/gの売りの逆指値注文を発注します。
- ③ 価格が11,950円/gとなった時点（市場で11,950円/gの約定がなされた時点）又はそれ以下となった時点で逆指値注文が売りの成行注文として登録されます。
- ④ 市場の状況にもよりますが、11,950円/g前後で売り注文が約定し、買い建玉が決済されます（損失は5,000円前後となります。但し、相場状況により、指定した値段よりかけ離れた値段で成立する可能性もあります。）※成行注文の場合、対応する注文が無い場合、残注文はキャンセルされます。

※詳細につきましては、「操作マニュアル」をご覧頂くか、「D-station サポートセンター（電話：0120-282-094・Eメール：request@hd-station.net）」までお問合せください。